

# Sendai Framework for Disaster Risk Reduction 2015 - 2030

応募受付中

## 仙台防災枠組2015-2030の グッドプラクティスを募集します

仙台防災枠組2015-2030は、日本が招致し2015年3月に宮城県仙台市で開催された第3回国連防災世界会議で採択された、国際的な防災の取組指針です。

仙台防災枠組が15年間の推進期間の折り返し時期を迎えるに当たり、日本の防災・減災の取組を広く国際的に情報発信するため、**グッドプラクティス(優良取組事例)**を募集します。

民間企業、非営利組織、学術研究機関、地方公共団体など、国内外で防災・減災活動に取り組む**多様なステークホルダーからの応募を期待いたします。**

### 募集部門

- ①「より良い復興」部門 我が国が提唱し、仙台防災枠組に位置付けられた、「より良い復興」(Build Back Better)の推進に資する取組
- ②一般部門 仙台防災枠組の「4つの優先行動」等に資する取組

### 募集期間

2022年4月11日～5月31日

### 応募方法

裏面をご覧ください

主催:内閣府(防災担当)  
協力:防災推進国民会議、防災推進協議会、  
国連防災機関(UNDRR)駐日事務所

# 仙台防災枠組2015-2030 グッドプラクティス 募集要項

## 応募できる団体

民間企業、非営利組織、学術研究機関、地方自治体、その他の公的機関など（法人格を持つ団体であればどなたでも応募可能です。）

## 応募対象となる取組<sup>注1</sup>

### ①「より良い復興」部門

国内外の災害からの「より良い復興」(Build Back Better)（下記）の推進に資する取組<sup>注2</sup>

### ②一般部門

仙台防災枠組の「4つの優先行動」（下記。ただし優先行動4後段の「より良い復興」を除く。）及び「多様なステークホルダーの役割」、「国際協力とグローバル・パートナーシップの推進」に資する取組<sup>注3</sup>

## 応募した事例の取扱い

提出された取組事例は、内閣府において選考を行い、特に優れたものをグッドプラクティス集として取りまとめ、国連に提出します。<sup>注4</sup>

## 提出先・問合せ先

次のURL (<https://www.bousai.go.jp/kokusai/index.html>) 又は右のQRコードから応募様式（Word形式）を入手し、内閣府の専用アドレス [sendaigp@oriconsul.com](mailto:sendaigp@oriconsul.com) 宛にご提出ください。

お問合せは、上記アドレス又は電話03-3502-6983(直通)までお願いします。

応募様式QRコード



### 「より良い復興」 (Build Back Better)とは

災害後の復旧・復興過程に、

- 土地利用やハード整備の見直し
- 知識や教訓の共有
- 被災地の持続可能な開発等に取り組み、復興過程を通じた防災力の強化を図ること。

（詳しくは仙台防災枠組パラグラフ33(j)を参照ください。）

### 仙台防災枠組の「4つの優先行動」とは

#### 優先行動1：災害リスクの理解

関連データ収集・分析、災害リスク評価、防災教育、普及啓発等

#### 優先行動2：災害リスク管理のための災害リスクガバナンス

全てのセクターにわたる防災の主流化、防災戦略計画の策定等

#### 優先行動3：強靱化に向けた防災への投資

ハード・ソフト対策を通じた防災への官民投資、土地利用等

#### 優先行動4：効果的な応急対応に向けた準備の強化と「より良い復興」

災害予警報、事業継続、避難場所・食糧・資機材の確保、避難訓練、「より良い復興」

### 仙台防災枠組について詳しく知りたい方は

内閣府防災担当「第3回国連防災世界会議」のページをご覧ください。  
URL: <https://www.bousai.go.jp/kokusai/kaigi03/index.html>



注1: いずれの部門も、2015年以降に開始又は体制を本格整備した取組のうち、国全体、特定の地方又は特定のステークホルダーグループ（注3参照）の中で具体的かつ顕著なインパクトをもたらした取組が対象になります。単なる単発のイベントや他機関との連携体制構築等は対象になりません。また、インパクトを定量的にデータで示すことが望まれます。

注2: 「より良い復興」部門には、2015年以降に開始した又は体制を本格整備した取組であれば、東日本大震災（2011年）や熊本地震（2014年）等、2015年以前の災害を対象とした取組も含まれます。

注3: 仙台防災枠組では、多様なステークホルダーの役割及び国際協力・グローバルパートナーシップを奨励しています。ステークホルダーには、市民社会・ボランティア・コミュニティ団体、女性（ジェンダー）、子ども・若者、障害者、高齢者、学術界、経済界、メディア等が含まれます。

注4: 選考に当たっては、①仙台防災枠組との関連性、②取組がもたらしたインパクトの具体性と規模、③地域コミュニティや他のステークホルダーを巻き込むなどの包摂性、④取組の推進体制、等を考慮します。